

平成26年度カリキュラムの主な変更点 —平成24年度までの入学者向け説明資料—

情報科学類カリキュラム委員会
2014年3月

1

注意事項

- このスライドは、平成24年度までに入学した(あるいは、平成26年度までに3年次編入学した)学生向けの説明資料です。
 - また、2学期制の概要については、平成25年4月12日付けのスライドをご覧ください。
 - ここでは、その知識を前提として、平成26年度における「差分」のみを説明します。
 - 平成N年度に3年次編入学した学生は、平成N-2年度に入学した学生と思って、この資料を読んでください。
- 平成25年度以降に入学した学生は、別の資料(入学時のガイダンス資料等)をご覧ください。

2

主な変更点

3

平成26年度における主な変更点

- 平成26年度は、**2年次向けの科目**が新カリキュラム対応になる。
 - 1年次向け科目は、新カリキュラムへ移行済。
 - 3–4年次向け科目は、おおむね新カリキュラムへ移行済。ただし、技術英語Ⅱ、Math for CSは移行期。

4

変更となる主な科目

1. 情報科学概論Ⅱ (旧「専攻概論Ⅱ」)
2. データ構造とアルゴリズム、同実験
3. システムプログラミング序論 (旧「機械語序論」)
4. オブジェクト指向プログラミング実習(旧「ソフトウェア構成論」)
5. 技術英語Ⅱ
6. Math for CS
7. その他

名称変更のみ(内容変更なし)

- 「コンピューターテラシ」
- 「技術英語Ⅰ」→「技術英語」

(参考)新課程学生のみ:2年次英語必修科目の設置

5

個別科目1

1. 情報科学概論Ⅱ (2単位)
 - 「ソフトウェアサイエンス概論Ⅱ」、「情報システム概論Ⅱ」、「知能情報メディア概論Ⅱ」(各1単位、合計3単位)を1つに統合。
 - 春C に開設。
 - H24年度までの入学者: 従来の概論Ⅱを1単位でも落とした学生は、履修する必要あり(詳しくは「科目の読み替え表」を参照)。

6

個別科目2

2. データ構造とアルゴリズム(3単位)、同実験(1. 5単位)
- 単位数、内容とも変更になるので注意。
 - 春A-C (15週)にわたって開設(10週でない)
 - 従来の内容を拡充(詳しくはシラバス参照)
 - 実験は、Java言語ベースとなる。
- 平成26年度のみ、旧「実験」を開講(1単位、10週、C言語ベース)
- 平成24年度までの入学者で、「実験」の未履修者は、こちらを履修してもよい。(学生が自分で選択)
 - 平成27年度以降は、旧「実験」を開講しない。
 - 旧「講義」(2単位、10週)は開講しない。

7

個別科目3, 4

3. システムプログラミング序論(3単位)
- 「機械語序論」を発展的に解消
 - C言語と機械語の基礎を含む
 - 秋A-C (15週)
 - 「機械語序論」を履修していない学生のみ履修可。
 - 平成24年度まで入学の学生にとっては選択科目。
4. オブジェクト指向プログラミング実習(1単位)
- 従来の「ソフトウェア構成論」を解消し、実習主体の科目として再構成
 - 「ソフトウェア構成論」を履修していない学生のみ履修可。
 - 選択科目。

8

個別科目5, 6

5. 技術英語Ⅱ(1単位、3年次向け)
- 単位数等に変更はない。
 - 実施形態は変更: 従来は10数人の教員が分担して担当→平成26年度は外国人教員2名が担当
 - 履修希望者は平成26年度中に履修すること。(新カリキュラムには含まれない科目であるので、平成27年度もしくはそれ以降に廃止予。)
6. Mathematics for Computer Science(1単位)
- 平成26年度開講せず
 - 平成27年度から3年次向けとして再開

9

個別科目7

7. そのほか
- 「解析学Ⅲ」は2年次向け科目として、開講される。(平成25年度は、開講されていなかった。)
 - 「コンピュータ数学」は、1年次向け科目となる。(平成25年度のみ、1-2年次の両方に配当されていた。)

10

進級要件、卒業要件等

- 在学生向けルールは基本的に変更はない。
 - 入学した年度の「履修要覧」を見ること。
 - 「コンピュータリテラシ」の科目統合など、形式的な変更があるのみ。

11

単位の読み替え等(細かい話)

12

在学生は、新科目を履修できるか？(1)

- 旧科目が新科目に再編されたケース
 - 新旧両方を履修するのは禁止。片方だけならOK。
 - 旧科目(の全部または一部)を未履修ならば、その**不足分の範囲内**で新科目を履修できる。

従来の科目	新科目
〇〇(主専攻)概論Ⅰ	情報科学概論Ⅰ
〇〇(主専攻)概論Ⅱ	情報科学概論Ⅱ
プログラミング入門Ⅰ,Ⅱ	プログラミング入門A,B
データ構造とアルゴリズム(2単位)	データ構造とアルゴリズム(3単位)
データ構造とアルゴリズム実験(1単位)	データ構造とアルゴリズム実験(1.5単位)
機械語序論	システムプログラミング序論
ソフトウェア構成論	オブジェクト指向プログラミング実習
〇〇(主専攻)実験Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ	〇〇(主専攻)実験A,B
専門語学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ	専門語学A,B
卒業研究Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ	卒業研究A,B

在学生は、新科目を履修できるか？(2)

- 科目が新設されたケース
 - 新科目を履修できる。
- 「コンピュータ数学」
 - 「情報数学」の廃止に伴う新設だが、内容的に別なので、両方履修して「専門基礎・選択科目」の分類に類別してよい。
- 3,4年次向け専門科目
 - 開講されているものを履修すればよい。
 - ただし、「開設授業科目一覧」の「備考」欄に注意
 - 例:「システム数理Ⅰ」:平成24年度までの「システム数理」の単位を修得した学生は、履修できない。

単位の読み替えとは？

- 単位の読み替えとは
- 例)
 - 卒業・進級等のために科目Aの単位が必要。
 - 科目Aは開講されず、科目Bが開講された。
- 科目Bを履修することによって、科目Aを履修したことによる措置を「読み替え」という。
 - 卒業・進級等の条件をチェックする際の便宜的な方法であり、成績証明書では、履修した科目名がそのまま印刷される。

事例1

- 平成24年度までに入学した学生が、旧「〇〇概論Ⅰ」(各1単位、3科目)の未履修単位がある場合。
 - 注意深く履修する必要あり。**
 - 旧「主専攻概論Ⅰ」を0単位履修済(3単位不足)
 - 新「情報科学概論Ⅰ」を履修すること
 - 不足する1単位は、任意の専門科目(GA, GB1, GB2, GB3, GB4)で充当
 - 充当科目が2単位以上の場合、余った分は、その科目自身の区分で使える。
 - 旧「主専攻概論Ⅰ」を1単位履修済(2単位不足)
 - 新「情報科学概論Ⅰ」を履修すること
 - 旧「主専攻概論Ⅰ」を2単位履修済(1単位不足)
 - 新「情報科学概論Ⅰ」を履修すること
 - 余った1単位は、専門科目の単位(所属する主専攻の区分)として使える。
 - 旧「主専攻概論Ⅰ」を3単位履修済(0単位不足)
 - 新「情報科学概論Ⅰ」を履修してはいけない(卒業単位にならない)
 - ※要するに、単位の無駄は出ない。
 - 「〇〇概論Ⅱ」も同様。

事例2

- 平成24年度までに入学した学生が、「プログラミング入門Ⅰ,Ⅱ」(各2単位)で未履修の単位がある場合。
 - 新:「プログラミング入門A」1単位、「B」3単位

注意深く履修する必要あり。

- 「Ⅰ,Ⅱ」とも未履修→「A」と「B」を履修すること。
- 「Ⅰ」のみ履修済→「B」を履修すること。1単位余り。
- 「Ⅱ」のみ履修済→「A」と「B」を履修すること。2単位余り。
- ※これらの措置により余った単位は、専門科目(GB1の区分)の単位として卒業要件に使える。
- 「Ⅰ,Ⅱ」両方とも履修済→新科目を履修してはいけない。

事例3

- 「主専攻実験Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」(各2単位)のうち、1つ(2単位)または2つ(4単位)を履修済み。

注意深く履修する必要あり。

- 0単位履修済→新しい実験2テーマ履修
- 2単位履修済→新しい実験2テーマ履修、2単位余り
- 4単位履修済→新しい実験1テーマ履修、1単位余り
 - 既に履修したテーマと同じテーマは取れない。
 - 落とした学期と、再履修の学期は対応しなくてよい。(1学期の実験を落として秋学期の実験を取ってもよい。)
 - 余った単位は、専門科目(所属する主専攻の区分)の単位として卒業要件に使える。
- 6単位履修済→新しい実験を履修してはいけない。

事例4 (平成26年度の新事例)

- 平成24年度までに入学した学生が、「データ構造とアルゴリズム」(2単位)を未履修の場合。
 - 新: 「データ構造とアルゴリズム」(3単位)
 - 新科目を履修すること。
 - ※余った単位は、専門科目(GB1の区分)の単位として卒業要件に使える。
 - 旧科目を履修済→新科目を履修してはいけない。

19

事例5 (平成26年度の新事例)

- 平成24年度までに入学した学生が、「データ構造とアルゴリズム実験」(1単位)を未履修の場合。
 - 新: 「データ構造とアルゴリズム実験」(1.5単位)
 - 平成26年度のみ、旧「データ構造とアルゴリズム実験」(1単位)も並行して開講。
 - 旧科目と新科目のどちらかを履修してもよい。(平成27年度以降に持ち越したときは、新科目を履修すること。)
 - ※「新」科目を履修した場合、余った単位は、専門科目(GB1の区分)の単位として卒業要件に使える。
 - 旧科目を履修済→新科目を履修してはいけない。

20

事例6

- 平成25年度までに入学した学生が、旧「コンピュータリテラシ」(1単位)、旧「コンピュータリテラシ実習」(1単位)を未履修の場合。
 - 単なる科目名変更なので、新「コンピュータリテラシ」(2単位)を履修すること。
- 平成24年度までに入学した学生が、「技術英語 I」(1単位)を未履修の場合。
 - 単なる科目名変更なので、新「技術英語」(1単位)を履修すれば、従来の「技術英語」と同じ区分の卒業単位となる。

21

GPA制度と成績評価

22

成績評価

- 平成25年度からの変更
 - 成績の評語に「A+」が追加
 - A+ 90点～、A 80点～、B 70点～、C 60点～、D～59点
 - 成績分布の目標
 - 「情報科学類の全体(合計)で、「A+」と「A」の合計比率が、おおむね4割以下となるようにする。」と規定。

23

GPA (grade point average)制度

- 平成25年度入学者からの変更
 - 学生ごとの総合成績を点数化して通知
 - all A+の学生は4.0、all A なら3.0など。
 - 一度落とした科目を再度履修して合格しても、前の成績(D)はGPA計算対象にはいる。
 - GPAの活用法(主専攻振り分け等で利用するかどうか、等)は、情報科学類学務委員会が決定して学生向けに周知する。

24

まとめ

情報科学類のカリキュラムの情報

<http://www.coins.tsukuba.ac.jp/>

→「在学生・教員向けTOP」

→「授業科目・時間割」

- 時間割、履修要覧(卒業要件、新旧要件のページ)、開設授業科目一覧、学年暦カレンダーなどへのリンクあり。

問い合わせ先:

カリキュラム委員会

curriculum-ga@coins.tsukuba.ac.jp

あるいは、支援室 学務担当職員

25